

会 議 録

会議名	相模原市米軍基地返還促進等市民協議会 令和4年度実行委員会	
事務局	基地対策課 電話042-769-8207(直通)	
開催日時	令和4年7月15日(金)午前10時30分～午前11時40分	
開催場所	けやき会館 5階 大樹の間	
出席者	委員	57人(別紙のとおり)
	事務局	6人(市長公室長、基地対策・中山間地域対策担当部長、基地対策課長、他3人)
会議次第	1 開会 2 議 題 (1) 令和3年度事業報告及び収支決算報告・会計監査報告 (2) 令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案) (3) 市内基地の動向等 3 閉会	

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

本村会長あいさつ

2 議題

(1) 令和3年度事業報告及び収支決算報告、会計監査報告

令和3年度の事業報告及び収支決算報告について、事務局から説明ののち、監事欠席のため事務局代読により会計監査報告を行い、原案のとおり承認された。

(2) 令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)

令和4年度の事業計画案及び収支予算案について、事務局より説明を行い、原案のとおり承認された。

(3) 市内基地の動向等

市内基地における動向等について事務局から説明を行った。
質問・意見の概要は、次のとおり。

騒音記録計の設置について、平成30年に相模総合補給廠周辺住民待望の騒音記録計が設置されたと承知している。設置からの3年間、体感としては市民の苦情件数は減っているように感じているが、騒音記録計の記録から分析したデータとしてはどうか。

65デシベル以上の音が5秒以上続いた回数を1回として騒音を計測している。令和元年度は2087回、令和2年度は1809回、令和3年度は1852回、そして令和4年度は6月までに56回を記録している。苦情をいただいた回数としては、令和元年度54回、令和2年度96回、令和3年度61回

この3年間で騒音として記録した回数は、1割くらいは減っているが、引き続き状況を注視していきたい。

城山地区においても昨今頻繁にオスプレイが飛行し、騒音を引き起こしている。騒音記録計で測定している場所は具体的にどこなのか。

現在市内に10基の騒音記録計を設置している。その内訳は、国設置が2基、県設置が2基、残る6基は市が設置している。

国と県が設置している騒音記録計は、厚木基地に起因する空母艦載機の騒音を測定するためのもの

市が設置している騒音記録計6基中4基は、厚木基地に起因する空母艦載機の騒音を測定するものである。残る2基のうち、勝坂コミュニティセンターに設置しているものは、キャンプ座間内キャスナー飛行場に由来するヘリコプターの騒音を、相模原駅自動車駐車場に設置したものは、相模総合補給廠周辺を飛行するヘリコプターの騒音を、それぞれ計測している。

市内を飛行する様々な航空機の騒音状況を踏まえ、設置について検討してきたもの

相模総合補給廠の中のヘリコプターの荷物吊り下げ訓練を市民が目撃している。吊り下げ訓練の状況を市として把握しているか。このような状況について、国や米軍に何らかの対応を求めているのか。

市民の方からの目撃情報で、吊り下げ訓練を確認しているが、市への事前の通告等は実施されていない。

米側からは、フェンスの内側での訓練である旨説明を受けているが、市街地に存在する基地での訓練であるから、市民に不安を与える行為は厳に謹んでいただくよう、そのような訓練を確認する都度申し入れている。

- オスプレイは、具体的にどこに何機配備されているか承知しているか。
米海兵隊オスプレイは普天間飛行場に24機配備、横田基地には、米空軍のオスプレイが配備計画では10機配備予定であり、うち5機がこれまでに配備完了していると聞いている。その後の状況は承知していない。
- オスプレイについては事故率が高まっているという報道もある。オスプレイが本市のような人口密集地の上空を飛行するということは、市民にとって大きな不安。可能な限り事前の飛行情報等を得られるようにしてもらいたい。
- 新型コロナウイルス感染症について、情報提供の在り方に変遷があるようだ。現在、国を通じて、1週間の1日当たり平均感染者数が市に対して伝えられているようだが、これを市として市民に対し、どのように情報提供しているか。
外務省から市に対し、毎週末に、市内米軍基地の1週間の1日当たり平均感染者数が伝えられており、その内容を報道発表している。当初は、在日米陸軍基地管理本部司令官から市長に対し情報提供があり、感染者数やお互いの感染拡大防止対策について共有していた。現在市では、国に対し、感染者数を情報提供してほしい旨、申入れをしている状況である。
- ゴルフボールの飛び出し問題に関連して、ゴルフ場の返還について基本方針はあるのか。
市の基本的な姿勢は、基地の全面返還。ただし、一朝一夕には行かないので、現実的な進め方として、返還を求める箇所に優先順位をつけて国・米軍に求める考え方を持っていて臨んでいる。その筆頭は、返還4事案だが、それに加え、個別に検討して、返還要請を行っている箇所があり、その中の1つが当該ゴルフ場である。
返還が未だ実現しない中でボールが飛び出している現状があるため、ボールの飛び出し防止を強く要請している。
- 具体的な問題として、ゴルフボールの問題でいえば、国のシミュレーション結果等を見て、市はどういう風に具体的にボールの飛び出しを防止する効果があると受け止めているのか。
南関東防衛局が実施したゴルフボールの弾道シミュレーション結果によると、住宅地に面している6番ホールにおいて、一定の風、一定の角度、一定の力の強さで打つとボールが飛び出す可能性があるとのこと。その角度の先にきちんとネットが設置されている又は嵩上げする等の対応を採るものと説明を受けている。市としては、時間をかけずにすぐにやってもらいたいという思いがあるので、防球ネットの緊急点検や使用するクラブの規制をかける等の緊急対策を採ることについても国及び米軍に申し入れている。

- 第38防空砲兵旅団司令部の現状について、平成30年の情報が記載されているが、それ以降の情報、現状はどうなっているのか。

第38防空砲兵旅団司令部の現況について、国・米軍から聴き取っている情報は、本日の配布資料に記載のとおり。駐留から数年が経過している中で、この部隊に起因する騒音等の影響や新しい施設が建てられたという事実は、現状確認していない。そういったことから、外から見分には、静かな部隊であるという印象。内部については詳細を把握していないのは事実であるので、早急に視察を実現できるよう要請している。

- 横田基地配備のオスプレイは、八王子上空を通り、橋本を經由し、実際に城山上空を飛行してから、御殿場に向かっている。御殿場で訓練をしてから、小田原、相模湾を經由し、田名、相模総合補給廠上空を通り、横田基地に戻っている。

オスプレイは、今年に入って既に2機墜落しており、危険な航空機であることは間違いない。騒音レベルでいうと、高度の高いところを飛ぶから、市の設置している65デシベル以上を検知する騒音記録計には引っかけられないが、飛行していること自体変わらない。市がオスプレイ情報を市民から受け取る窓口を作り、それを情報提供する仕組みをぜひやってもらいたいと思っているが、どう考えるか。

オスプレイについては、騒音の苦情というよりも、飛行を目撃したという情報を市民の方からいただくことが多い。その件数は、市HPに掲載している。

他の自治体では、かつて市民の方からの目撃情報を集計することを試みた事例があると聞いているが、実際にやってみると、同じオスプレイを指した情報提供なのか定かではなく、分析整理が非常に難しいと聞いている。

今後もオスプレイの動向については注視しつつ、厚木基地周辺の自治体と連携して、安全安心の確保、市民の皆さんの不安の払しょくにつなげる取組等、意見交換をしていきたい。

- 最新の情報では、キャンプ座間では1日あたりに10人程度が新型コロナウイルス感染症に感染しており、これはかなり大きい数字である。これだけ感染者が多いということは、市内の病院を使うこと等課題はあると思うので、国及び米軍に対してはもっと情報を提供してほしいと感じる。

市長はこれまで基地管理本部司令官と議論してきた経緯がある。それを復活させるなどの前向きな対応をお願いしたい。

市長と基地管理本部司令官との定期的な情報共有の機会は今後もあり、その内容について、共有可能な情報は発信してまいりたい。市としても、国からの適切な情報提供について、今後もしっかり求めていきたい。

- 資料5に、返還地にある住宅の撤去・樹木の伐採を引き続き求めていくという記載があるが、市としてはどのくらいの期間でやってもらいたいという要望を出しているのか。

また、25ヘクタールの共同使用区域について、今後返還について進めていく方針を持っているか。

現状、一部返還地の土地・建物の所管は財務省であり、更地部分については市が管理を引き受け、イベント広場として活用している。

残っている住宅は、老朽化しているものの、かなり堅固な建物であることから、撤去には相当な予算が必要だと聞いており、スケジュール等は示されていない。市としては、引き続き早期撤去等を求めていく。

また、25ヘクタール部分もイベント等で利用することができる。過去には、潤水都市さがみはらフェスタとさがみはらサイクルフェスティバルを同時開催するため、25ヘクタール部分を使用した例もある。

市は、10ヘクタール部分の相模原スポーツ・レクリエーションパークの整備進捗と合わせ、25ヘクタール部分を使う実績も積み上げていきたいと考えている。現状、このように共同使用ということで日米で活用していくが、市としては、活用実績を積み上げながら今後も返還を求めていきたい。

- 25ヘクタールの外周に桜の木を60本植樹してある。

これは毎年やるのか、一回きりなのか。何年後かにまた行うのか。

今後の詳細の計画は把握していない。今後の計画について分かり次第お知らせする。

(注)会議後確認したところ、現時点では追加の植樹の予定はないとのことでした。

- オスプレイの音は非常にうるさいと感じている現状も把握しておいてほしい。

3 閉会

寺田副会長あいさつ

以 上